



からだ け せきつい どうぶつ
 体が毛でおおわれている脊椎動物
 で、ヒトと同じく母乳を飲んで育つ。
 おお ぼにゅうのそだ ははおや
 多くの哺乳類は卵を産まず、母親の
 たいない せいちゆう こ う
 胎内で成長した子どもを産む。



□カヤネズミ(ネズミ目ネズミ科)
 へん さいしゆう
 ススキなどの草原にいる日本最小のネズミ。
 かれくす つか きゆうじゆう す くさ うえ つく
 ミ。枯草を使って球状の巣を草の上につ
 こそだ しやん す
 り、子育てをする。写真は巣のみ。



□アズマモグラ(モグラ目モグラ科)
 ひがしにほん せいそく いっしゆう
 東日本に生息するモグラ。一生のほとん
 ちちゆう す
 どを地中で過ごす。モグラ塚はトンネルを
 ほ つち す
 掘って出た土を捨てたもの(右上)。



□アライグマ(ネコ目アライグマ科)
 きた いにゆう がいらいしゆ
 北アメリカから移入された外来種。
 み め うらほら きしゆう
 かわいい見た目は裏腹に、とても気性
 あら さげん もよう しつぱ どくちゆう
 が荒く危険。しま模様の尻尾が特徴。



□ホンドタヌキ(ネコ目イヌ科)
 どうわ むかしぼなし どうじゆう ぶか
 童話や昔話でもよく登場するなじみ深
 どうぶつ ひとせな ちか そうさぼやし せいそく
 い動物。人里近くの雑木林などにも生息
 とし ぶ もくけき おお
 し、都市部での目撃も多い。



□ハクビシン(ネコ目ジャコウネコ科)
 どうなん ちゆうごく なんどうぶ げんさん がいらいしゆ
 東南アジアや中国南東部原産の外来種。
 やこさせい どうぶつ ほな あたま しゆう
 夜行性の動物で、鼻から頭に掛けて白い
 せん もよう はい
 線模様が入る。

あし ちが
 アライグマ・ホンドタヌキ・ハクビシンの足あとの違い



■アライグマ
 ほん なが ゆび わ ひと おな かたち
 5本の長い指がはっきりと分かれており、人と同じような形をしてい
 ます。かかとまで地面につけて歩くため、細長い足あとが残ります。

■ホンドタヌキ
 ゆび ほん ぜんたいてき まる かたち あし に
 指は4本で全体的に丸い形をしています。ネコの足あとと似ていますが、
 つめ のこ めだ きのぼ とくい
 タヌキは爪あとが残りがやすく、目立ちます。木登りが得意ではないため、
 あし じめん み
 足あとは地面によく見られます。



■ハクビシン
 ゆび かず ほん おな じめん ある
 指の数は5本です。アライグマと同じく、かかとまで地面につけて歩
 ほそなが あし きのぼ とくい てんちゆう
 くため、細長い足あとをしています。木登りが得意で、塀や電柱など
 あし み
 に足あとが見られることがあります。